

令和6年度 第4回 足立区地域保健福祉推進協議会  
「子ども支援専門部会」

令和6年12月19日

【 審議・調査事項 **報告事項** 情報連絡事項 】

件名	<b>令和8年度あだち放課後子ども教室の民間事業者への委託の検討について</b>													
所管部課	学校運営部 青少年課 足立区生涯学習振興公社													
内容	<p>今後のあだち放課後子ども教室の運営について、民間事業者への委託化を検討したいため、方針について報告する。</p> <p><b>1 課題</b></p> <p>(1) 利用者要望の多様化 利用者の要望が、学習支援・体験活動の充実など、多様化している。</p> <p>(2) 運営体制の硬直化 安全管理員（見守りスタッフ）不足により、放課後子ども教室の開催日及び対象学年に差が生じている。</p> <p><b>2 先進事例の視察</b></p> <p>委託化を検討するにあたり、すでに放課後子ども教室と学童保育室の一体的な運営を導入している世田谷区・荒川区を視察した。その結果、委託化によるメリットとデメリットは以下のように捉えている。</p> <p><b>委託化によるメリットとデメリット</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>メリット</th> <th>デメリット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以下の4点について、実現可能性が高まる。</td> <td>1 財政負担が大きい</td> </tr> <tr> <td>1 週5日、全学年実施</td> <td>2 受託可能な事業者が未知数</td> </tr> <tr> <td>2 1年生入学後の早期受け入れ</td> <td>3 地域の方々の活躍の機会が減る可能性がある</td> </tr> <tr> <td>3 長期休業期間中の実施</td> <td>4 一旦委託すると実行委員会形式に戻すことが難しい</td> </tr> <tr> <td>4 見守りに加え、学習支援・体験活動の実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 方針</b></p> <p>放課後子ども教室と親和性が高い学童保育室との一体的な運営が効果的と考えられるため、実現の可能性について検討を開始する。</p> <p>(1) 検討対象校</p>		メリット	デメリット	以下の4点について、実現可能性が高まる。	1 財政負担が大きい	1 週5日、全学年実施	2 受託可能な事業者が未知数	2 1年生入学後の早期受け入れ	3 地域の方々の活躍の機会が減る可能性がある	3 長期休業期間中の実施	4 一旦委託すると実行委員会形式に戻すことが難しい	4 見守りに加え、学習支援・体験活動の実施	
メリット	デメリット													
以下の4点について、実現可能性が高まる。	1 財政負担が大きい													
1 週5日、全学年実施	2 受託可能な事業者が未知数													
2 1年生入学後の早期受け入れ	3 地域の方々の活躍の機会が減る可能性がある													
3 長期休業期間中の実施	4 一旦委託すると実行委員会形式に戻すことが難しい													
4 見守りに加え、学習支援・体験活動の実施														

今年度は令和7年度に指定管理学童を公募（令和8年度契約開始）する各校を検討対象とする。

#### 4 委託化に向けての留意点

委託を進める場合は、以下の点に十分配慮していきたい。

##### (1) 安全管理員について

現在、放課後子ども教室の運営を担っていただいている安全管理員の方が希望されるのであれば、委託後も引き続き活動できるよう、事業者へ要望していく。

##### (2) 地域の関与について

実行委員長をはじめとする実行委員メンバー等は、地域からのご意見を発信する機会を設ける等、何かしらの形で関与していただける仕組みを検討していく。

#### 5 スケジュール（予定）

令和6年 12～2月 募集要領・内容検討  
委託化に関する方向性の報告